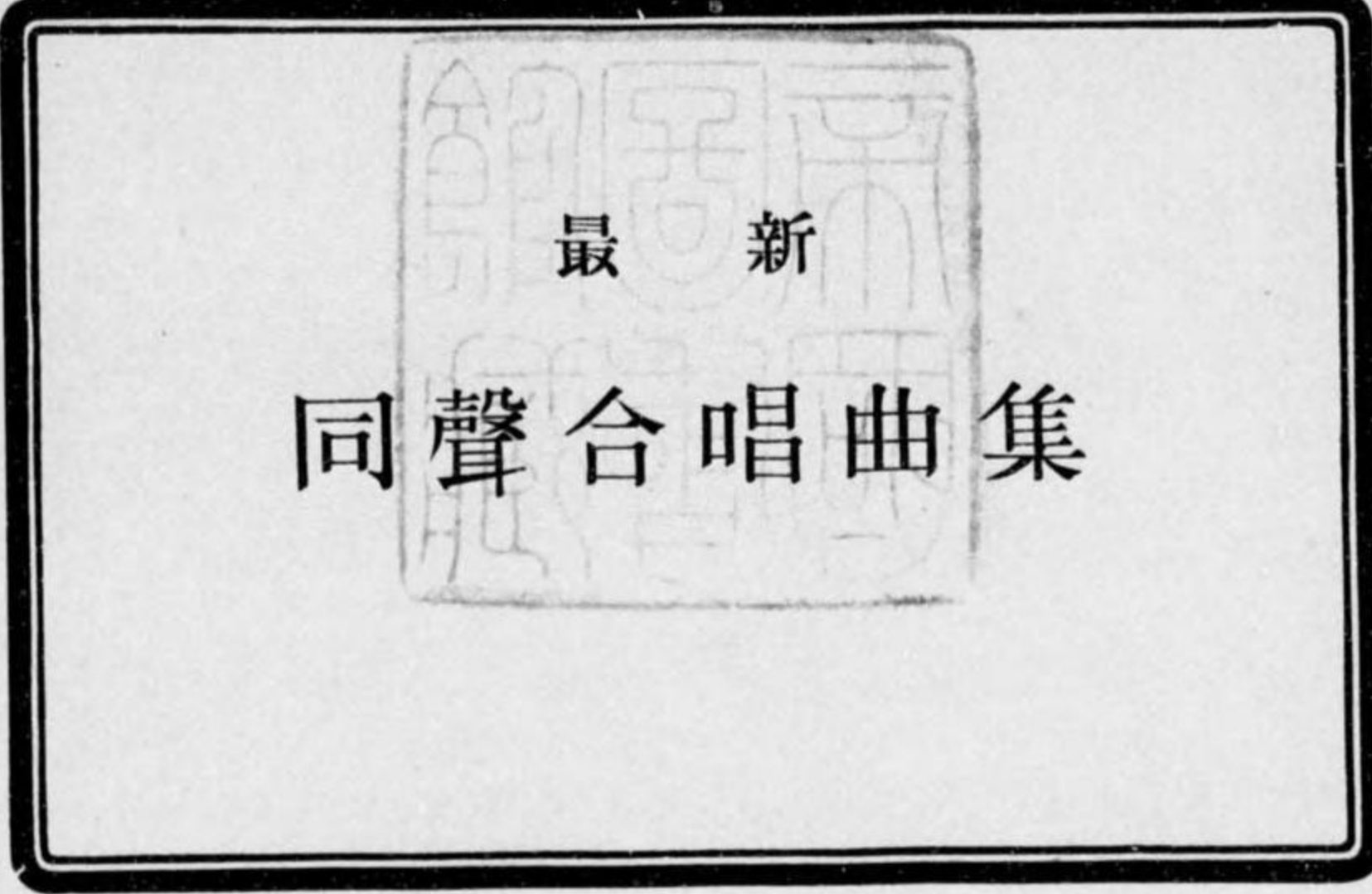


特270  
499



あきのよぞあはれふかき あきのよぞあ  
はれふかき つきも かりも あはれあは  
かぜも つゆも  
れ あはれや

*sf* *cresc.* *p* *cresc.* *p*

星は光り浴びて

(Stephen Glover)

*Allegretto.* *mf*

(一) キラメクホシカゲ コノミニーアービー  
(二) きらめくほしかげ このみにーあービー

テ タナカノアゼミチ シツカーニタドラ  
て つゆけきこみちをしづかにたどら

*mf* *f* *p* *decresc.*

*dolce.*

ン - ッタ ナ キ シ ラ ベ ラ タ カ ラ ニウ - タ -  
 ん - を か は の な が れ も も り ふ く よ - か -

*dolce.*

*p*

フ モ ハ チ ラ フ ヒ ト ナ キ ケ フ コ ノ - コ - ヨ -  
 ぜ も わ れ ら を む か へ て よ ろ こ び - う - た -

*dim.*

*dim.*

*dim.*

*rit.* *mf* *a tempo*

ヒ - キ ラ メ ク ホ シ カ ゲ コ ノ ミ ニ - ア - ビ -  
 ふ - き ら め く ほ し か げ こ の み に - あ - び -

*rit.* *a tempo*

*mf*

*rit.* *a tempo*

*cresc.* *f* *decresc.*

テ タ ナ カ ノ ア - ゼ - ミ チ シ ヅ カ ニ - タ ド ラ  
 て つ ゆ け き こ - み - ち を し づ か に - た ど ら

*cresc.* *decresc.*

ン - ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ  
 ん - ラ ラ ラ ラ

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ  
 ラ ラ ラ ラ

*cresc.* *rit.* *a tempo*

ラ ラ ヨ ス ガ ラ - ア ソ バ ン タ ノ シ キ コ ヨ ヒ -  
 ラ ラ ひ と よ を - あ そ ば ん た の し き こ よ ひ -

*cresc.* *rit.* *a tempo*

*cresc.* *rit.* *a tempo*

くごもる鳥ぞ悲しき

小草も霜に凋みて 啼く虫の聲もほそる

きらめく星かげ 此の身に浴びて  
田中の畦路 静かにたどらん  
ララララ ララララ

なく鳥の聲立てずや  
なにをうれへてか悲しむ

(乙) 寺の鐘遠く響きて  
(甲) あれ聞けや雁音

夜すがら遊ばん 楽しき今宵  
きらめく星かげ 此の身に浴びて

あ 雪荒れ(鳥に悲しき雪荒れ)

いつはり(胸をいたむるいつはり)

歸るにしかじ波路へ

睦びてし友は遠く 慣れ慣れし家路遙か

露けき小徑を 静かにたどらん

歸れかへらむ 山べに

(甲) 姉妹よいかに暮し  
(乙) 父母よいかに在す

小川の流れも 森吹く夜風も  
我等を迎へて 喜び歌ふ

歸るにしかじ波路へ

來し方胸に浮びて 逝く秋ぞ哀れ深き  
行末胸に逼りて 秋の夜ぞ哀れ深き

霧けき小徑を 静かにたどらん  
ララララ ララララ

歸れかへらむ 山べに

(甲) 月も雁も  
(乙) 風も露も

一と夜を遊ばん 楽しき今宵

浪あらふれど 雪なく

あはれ あはれ あはれや

一 夢を破る夜半の風  
窓をたたく音も凄く

けものほゆれど 人居ず

あはれ あはれ 如何にかいませる。

牙ゆる胸に淡く浮ぶ 睦びなれし友の面わ

あ 雪なき海

○星光浴びて 犬童球溪

○友の 俳 犬童球溪

あ 人こぬ山べ あ。

一 きらめく星光 此身に浴びて  
田中の畦路 静かにたどらん

あはれ 如何にかいませる。

○逝く 秋 犬童球溪

拙なき歌調を 高らかに歌ふも  
恥ぢらふ人なき 今日この今宵

風森にすさびて 庭の面に木の葉亂れ

二 雲も晴れし夜のみ空

窓の外に仰ぎみれば

澄める月に淡くうかぶ

睦びなれし友の面わ

あはれ 如何にかいませる。

○ローレライ 犬童球溪

一 今にもこのれる奇しき傳説

心に抱きて訪ね來れば

ラインの流れは遠く延きて

入日に山の端あかく映ゆる。

二 そばだつ巖に夕日さして

光るは乙女の髪はの装星しほか

碎る白浪船を打ちて

心も寒けく眼眩む。

三 忽ちうづまく深きよどみ

底ひも知られぬ水の中か

妙にももれくる歌の調べ

永久にひびけや奇しきローレライ。

○春の歌 竹尾和一

一 春は近し あらしのむた

若草萌ゆれ あらしふけど

若草萌ゆれ あらしはふけども

めぐめよ ひとびと

春にぞ 遇ふべく

めぐめよ ひとびと

春にぞ 遇ふべく

春にぞ 遇ふべく。

二 冬より離れて 春むかへよ

春ぞたまゆら 春ひととき

春ぞたまゆら 春こそひととき

めぐめよ ひとびと

春にぞ あふべく

めぐめよ ひとびと

春にぞ あふべく

春にぞ あふべく。

○野ばら 石倉小三郎

一 野中に赤くにほへるばら

さやにうるはし

童走せより あかすながむ

野中のうばら 野ばらよあはれ。

二 われ折り取らん野中のばら

われ君刺さん

折らるるいたみ 君さとれよ

野中のうばら 野ばらよあはれ。

三 童は折りぬ野中のばら なごりもはかな

もろきは花の さだめかあはれ

野中のうばら 野ばらいたまし。

○菩提樹 石倉小三郎

一 泉のほとり 緑しげき

菩提樹のかげ 夢美はし

とはにと彫りぬ 美し言葉

悦びなげき なれと語りし。

共益ボーカーピース

- 504 流 浪 の 民 (同聲三部合唱曲) シューマン原作 石倉小三郎譯歌 .20  
 515 歌劇 ローレライ (同聲、混聲用合唱曲) メンテルスゾーン原作 吉丸一昌作歌 .20  
 516 乙女のまごひ (女聲三部合唱曲) 本居長世作 犬童球溪作歌 .20  
 517 歡 迎 の 歌 (女聲三部合唱曲) モツアールト原作 井上武士作歌 .30  
 (グローリア)  
 518 祝 歌 (單聲、混聲共用合唱曲) ソグネル原作 犬童球溪作歌 .30  
 (タンホイセル大行進合唱曲)  
 519 紡 ぎ の 歌 (女聲三部合唱曲) ソグネル原作 近藤朔風作歌 .30  
 (さまよへる和蘭人より)  
 520 た そ が れ (女聲三部合唱曲) アプト原作 池尻景順作歌 .20  
 521 春 雨 (女聲二部合唱曲) 澤田柳吉作 相馬御風作歌 .20  
 522 歡 喜 の 歌 (單聲、混聲共用合唱曲) グルツク原作 犬童球溪作歌 .30  
 (オルフォイッより)  
 525 森 の 合 唱 (獨唱聯唱及合唱曲) メンテルスゾーン原作 同 .30  
 (眞夏の夜の夢より)  
 526 ア ル セ ス テ (獨唱及合唱曲) グルツク原作 同 .30  
 527 眠 れ 静 か に (獨唱及合唱曲) シューマン原作 石倉小三郎譯歌 .30  
 (樂園ミペーリーより)
- 551 清 流 (同聲三部合唱曲) プラームス原作 犬童球溪作歌 .15  
 552 秋 の 歡 び (同聲、混聲共用 四部合唱曲) メンテルスゾーン原作 同 .15  
 553 秋 夜 (同聲二部合唱曲) 同 脇 太一作歌 .15  
 554 埠 頭 の 別 れ ( 同 ) ベートーベン原作 犬童球溪作歌 .15  
 555 別 れ (同聲三部合唱曲) クルシュマン原作 脇 太一作歌 .15
- 801 春 興 (單聲三部合唱曲) モツインギー原作 矢口莫愁作歌 .50  
 (絃樂伴奏付)  
 802 歡 迎 の 歌 (混聲合唱曲) モザート原作 井上武士作歌 .50  
 (グローリア)

最新中等唱歌曲集 (伴奏付) 若狭萬次郎編 1.30



發行所

東京市芝區松本町四十四番地  
 合資 共益商社書店  
 電話三田(45)四〇五六・四〇五七  
 振替東京一五八〇

製 復 許 不

印刷所 共益商社書店印刷部

發行所 東京市芝區松本町四十四番地  
 合資 共益商社書店  
 代表者 白井保男

編者 若狭萬次郎

定價金壹圓五拾錢

昭和四年七月二十一日印刷  
 昭和四年七月二十四日發行